

# 【 日韓スポーツ交流2019 ハンドボール競技(女子・派遣) 】

2019年9月17日～21日

開催国：韓国・都市：済州

## 試合結果報告 9月20日(金)

JPN(日本)	VS	KOR(韓国)
8	前半	16
13	後半	7
	第一延長	
	第二延長	
21	合計	23

### 個人得点

No.	名前	得点
1	比嘉 楓	
2	今谷 琉果	1
3	池 杏菜	1
4	白木 千奈理	1
5	吉田 七夕子	3
6	長谷川 真穂	
7	塚邊 美夏	1
8	杉浦 葵	
9	砂川 茉穂	1
10	荒井 美咲	2
11	溝淵 那月	1
12	榎本 美佑	
13	叶谷 紅名	2
14	外口 若奈	1
15	高来 葵美	7
16	作本 夕莉	
	合計	21

試合結果

### 戦評

前半、日本はLW溝淵、LB長谷川、CB高来、RB塚邊、RW杉浦、PV吉田、GK榎本の布陣で臨んだ。対する韓国は、6-0DF、OFはダブルポストでゲームを組み立てた。日本は、高来を中心にバランス良く得点を重ね、立ち上がり5分には3-2でリード。しかし、退場を2人出してしまうなど、ポストと中央のカットインを中心に得点重ねられる。前半12分、9-6と粘り、ここでタイムアウト。LW池、LB白木、CB荒井、RB砂川、LW叶谷、外口、PV今谷、GK作本とメンバーを入れ替えた。しかし、シュートミスから立て続けに速攻決められ、前半を8-16韓国リードで終えた。

ディフェンスとゲームプランを再確認し、臨んだ後半は、前半と同じ選手起用で、GK比嘉を投入。すると、後半はCBの高来のみドルが入り出すとともに、比嘉が7m2本を含む連続セーブで速攻を重ね、12分までに3点差までつめた。ここで前半同様、全てメンバーチェンジ。日本の攻撃的なDFで、さらに24分までに1点差まで詰め寄り、たまたま韓国がタイムアウト。最後のDFでも運動量を継続し、パッシブ直前まで守ったが、ポストに対する7mスローを取られ、悔しい21-23で敗戦となった。

報告記入者：

荒井 啓貴